

氷都新時代！ 八戸国体



滑り込みB決勝へ 佐々木「まくり返せた」

○少年男子500m標準決勝
勝った佐々木快彰（八戸光星高）
はそれまで4番手だった選手
をゴール直前でわずかにかわ
して4位。B決勝（5、8位
決定戦）に回る事になり、
「最後にまくり返せて良かった」と話した。

スタートで同走選手のプレ
ード（刃）とぶつかり、やり
直しになるなど「集中力が一
度切れてしまっていた」。最
終コーナーでも膨らんでしま
うなど反省も多いレースだっ
ただだけに、B決勝に向けて「全
力を上回る位の方で滑り切り
たい」と燃えていた。

【少年男子500m標準決勝1組】組4位で5～8位決定戦に進んだ佐々木快彰（左）

少年男子
1万円

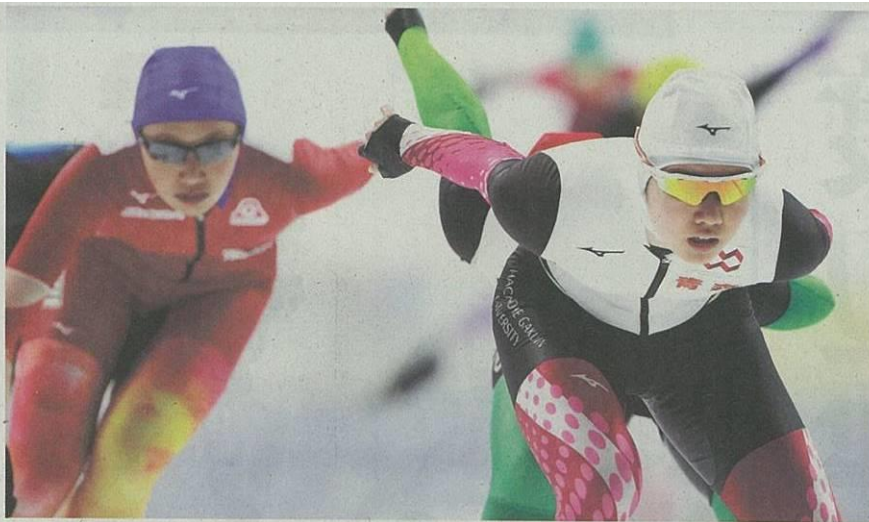
大崎 決勝へ気を引き締め



【少年男子1万円予選2組】5位で決勝に駒を進めた大崎公暉（手前）

○…少年男子1万円予選2組では、大崎公暉（八学光星高）が7人中5位で決勝に進出。ただ、レースでは先頭責任を完了できず、4人による先頭集団から大きく後れてのゴールとなっただけに、内容には納得していない様子だった。序盤に先頭責任を2回記

録したが、直後にペースアップした先頭集団に「反応できなかった」。後続に合流し、巻き返しを狙ったが、結局周回遅れとなった。12人で争われる決勝には、県勢の竹中裕馬（八戸西高）も進出。大崎は「2人で協力する場面もあると思う。これから作戦を立てる。決勝はさらに速いペースになるはずなので、ついていきたい」と気を引き締めていた。



【成年女子1500m予選4組】組2位で決勝に進んだ前中香澄(右)

前中「思い描いた展開」決勝進出

○…成年女子1500mでは、前中香澄(八学大)が予選2位で決勝進出。「地元開催で決勝の舞台に立つのが目標だった」とほっとした表情で喜んだ。

スタートのやり直しがあったが、「むしろ緊張がほぐれて落ち着けた」と動じなかった。最初の周回で先頭責任を

1500
成年女子

完了。「思い描いていた展開」といういい流れで最後まで先頭に食らい付いた。

観客の大声援が聞こえ、地元ならではの雰囲気力が力になったという。「決勝もリラックスして臨み、少しでも上の順位を狙いたい」と意気込んだ。

○…成年女子500mで期待された鬼頭琴音(八学大)は準決勝敗退。「バックストレートで(スパートを仕掛けようと思っただが、スピードに乗り切れなかったと唇をかんだ。

鬼頭 スタート出遅れ

成年女子500 準決勝敗退「申し訳ない」

スタートダッシュでの出遅れが響き、下位集団から抜け出せなかった。4位選手に0・1秒及ばず、5-8位決定戦への出場もなかった。

逃し、「地元開催の国体なのに観客に申し訳ない」とぼつり。残るは成年女子1000mと同2000mの2レース。「500mでの悔しさをばねに、八戸の皆さん



【成年女子500m準決勝1組】僅差で5位となり、決勝進出を逃した鬼頭琴音(左)

込めた。